

議会だより



6月定例会

- 2 コロナ対応の事業を拡充
- 5 7議員が町政を質す
- 13 9月定例会から本会議の審議を生放送
- 14 岩美高生が6月定例会を傍聴

2年振りの海開き
安全とコロナ収束を祈る
7月10日 荒砂神社において、
浦富海水浴場 安全祈願祭

新規の事業支援金給付、学生支援を再度実施 コロナ対応の事業を拡充



岩美町 企画財政課様

岩美がんばれ若者小包のお礼が言いたく、メールさせて頂きました。
この度は、このような小包を送って頂き、ありがとうございました。本当に助かりましたし、岩美の名産品を知れたことが良かったですし、岩田醤油が大好きなので大変嬉しく思いました。また、岩美町長様からのメッセージに感動いたしました！そのメッセージを見て、ご迷惑かもしれませんがどうしてもお礼が言いたいと思い、メールさせて頂くことにしました。
コロナウイルス感染症の影響でとても大変な1年でしたが、国や岩美町、大学、家族等周りの方が援助の手を差し伸べてくださり、感謝の1年でもありました。このような支えを糧にしてこれからも頑張っていきたいと思っております。
本当に感謝しています。ありがとうございました！

「岩美がんばれ若者小包」の梱包の様子と昨年度実施時のお礼のメール

6月定例会

6月定例会を、6月8日から10日まで3日間の会期で開きました。
昨年引き続き大学生等若者支援、新たに町内事業者に対し減少割合な

どに応じた支援金給付を含む一般会計補正予算など追加1議案を含む9議案を、原案通り可決しました。
また、議員発議案1件を可決しました。

主な議案の概要・質疑

一般会計等補正予算

1億3054万円を増額し、予算総額を69億414万円としました。

歳出の主なもの

経営持続化支援事業 5000万円

新型コロナウイルス感染症拡大の長期化により、経営に影響を受けている町内事業者に対して減少割合などに応じた支援金を給付。

「岩美がんばれ若者小包」お届け事業 187万円

町出身の大学生などの学業や生活を支援するため町内産品の詰め合わせを送付。

給付金付特別奨学金事業 500万円

アルバイト収入の減少などで就学の維持が困難になっている本町出身の大学生、専修学生が継続して学業に専念できるように、給付金付特別奨学金（貸付金5万円、給付金5万円）の貸付・給付。

修学旅行費支援事業 130万円

小中学校の修学旅行において感染防止対策に

伴って増加する保護者負担を軽減するため、貸し切りバスの増台などにする経費を助成。

介護サービス提供事業所感染防止対策事業 600万円

介護サービス施設内での集団感染を防止するため、町内で介護サービスを提供している事業者に対して衛生用品の購入、施設改修などの感染防止対策に係る費用を助成。

個人事業主等傷病給付金 62万円

国民健康保険被保険者に対する傷病手当の対象とならない個人事業主などについて、傷病手当金と同様の金額を町独自に支給。

医療機械器具等購入費 1838万円増額

病院の新型コロナウイルス感染症患者用の病棟に必要な医療機器を整備するとともに、院内の更なる感染防止対策として、診療状況表示システムを整備。

高齢者介護予防等手数料の徴収に関する条例の一部改正

さまざまな理由で閉じこもり状態にある高齢者を対象に、訪問型介護予防事業を実施するにあたり、手数料を徴する。

問 新型コロナウイルス感染症を避けようとして家に閉じこもったことで身体の認知機能に影響が出ている例があると聞いている。その結果で介護が必要な一歩手前の状態でフレイルというそうだが、加齢によるものよりスピードが速いと指摘されている。訪問型介護事業の利用の申し出を待つのではなく、積極的に働きかける必要があるのではないか。

答 町では毎年65歳以上の要介護・要支援に掛かっている方全員に介護予防に関するアンケートを行っている。質問事項に外出のこともあり、その中で外出が減っている方には、積極的に声をかけたい。

陳情審査結果

件名	結果	賛否の状況
ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2022年度政府予算に係る意見書採択に関する陳情書 提出者：鳥取県教職員組合東部支部 支部長 常藤充博 外1名	趣旨採択 ※1	採択 升井祐子、寺垣智章、杉村 宏、田中克美、柳 正敏 不採択 吉田保雄
地方財政の充実・強化を求める陳情 提出者：自治労鳥取県本部 執行委員長 山口一樹 外1名	採 択 ※2 (意見書提出)	採択 升井祐子、森田洋子、寺垣智章、杉村 宏、澤 治樹、田中克美、柳 正敏

※1 趣旨採択という委員会審査結果に異議があったため、初めに採択に賛成の者を諮り、過半数に達しなかった。次にあらためて趣旨採択に賛成の者を諮り、初めに採択に賛成した者も趣旨採択に賛成し、趣旨採択に賛成の者が過半数に達した。

※2 趣旨採択という委員会審査結果に異議があったため、初めに採択に賛成の者を諮り、過半数に達した。



陳情について、起立をもって採決を行う

討 論

ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2022年度政府予算に係る意見書採択に関する陳情書

(趣旨採択)

採択 (杉村 宏議員)

町は、27年度から30人学級を完全実施して実現している。
 少人数学級編成を国の制度とするためにも採択すべきである。

採択 (田中克美議員)

コロナ禍の中で、少人数学級がいかに子どもたちの学びと成長に大きな意味を持っているのかということが明らかになってきた。
 陳情者の意をしっかりと受け止め、しかるべき機関にきちんと意思を通すために採択として意見書を提出すべきである。

不採択 (吉田保雄議員)

少人数学級が本来良いのかという疑問がある。
 今、教育はギガスクールなどで、子どもたちの成長が図られており必要がないと思う。

地方財政の充実・強化を求める陳情

(採択)

採択 (柳 正敏議員)

町制運営の安定あるいは継続・充実のため、また、本町の今後の住民福祉の向上あるいは更なる活性化を図るためにも採択すべきである。



三市町合同の交通安全運動（新温泉町地内）

採択（田中克美議員）

地方自治体のもとで暮らす住民にとって、頼りになる自治体の財政基盤をしっかりと確立することは、現行の不可欠な喫緊の課題である。

採択（杉村 宏議員）

住民に対して、社会保障、防災などの実務を担っているのは、地方自治体である。しかし、地域間の財源の偏在は大きく、地方交付税の財政調整機能はより強化されなければならぬ。

5月31日臨時会

2年度一般会計補正予算

（専決処分）

特別交付税の決定などに伴い、5393万円の増額を承認しました。

交通安全対策特別

交付金で、交付団体になった理由はどうか。

答 町内の事故件数の前年と前々年の実績に基づいて、交付金が算定されるが、その事故件数が増えたことによる。

3年度一般会計補正予算

（専決処分）

子育て世帯への生活支援特別給付金の支給に伴い、960万円の増額を承認しました。

国民健康保険税条例の一部改正

税率及び課税額から減額する額を決定しました。

病院事業の設置等に関する条例の一部改正

診療科目に脳神経内科の追加を承認しました。

5月臨時会の審議結果と賛否の状況

提出者	議案	審議結果	賛否の状況
町長	2年度一般会計補正予算（専決処分）	承認	全員一致
町長	税条例等の一部改正（専決処分）	承認	全員一致
町長	3年度一般会計補正予算（専決処分）	承認	全員一致
町長	国民健康保険税条例の一部改正	可決	全員一致
町長	病院事業の設置等に関する条例の一部改正	可決	全員一致

6月定例会の審議結果と賛否の状況

提出者	議案	審議結果	賛否の状況
町長	損害賠償の額を定めることについての専決処分	承認	全員一致
町長	損害賠償の額を定めることについての専決処分	承認	全員一致
町長	特別医療費助成条例の一部改正	可決	全員一致
町長	高齢者介護予防等手数料の徴収に関する条例の一部改正	可決	全員一致
町長	一般会計補正予算（第2号）	可決	全員一致
町長	国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決	全員一致
町長	介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決	全員一致
町長	病院事業会計補正予算（第1号）	可決	全員一致
町長	一般会計補正予算（第3号）	可決	全員一致
議員	地方財政の充実・強化を求める意見書	可決	全員一致

一般質問

7議員が町政を質す^{ただ}

一般質問は、議員が自らの調査・研究、住民の声にもとづき、町執行部の方針を質すものです。

結果として「現行の政策変更」や「新規政策を採用」させるなどの効果があります。

【質問のルール】

事前に質問要旨を通告し、議長の許可を得て質問します。

質問時間は1人30分以内（答弁の時間を除く）で、一問一答方式で何度でも質問できます。

6月定例会の一般質問（登壇順）

質問議員	ページ	質問事項(通告書のまま)
橋本 恒	6	1 住宅地、商業地の水路の維持管理について 2 いじめ、体罰、不登校など学校の諸課題について
宮本純一	7	1 森林環境譲与税の活用について 2 中学校部活動について
森田洋子	8	1 循環型社会のまちづくりについて 2 避難行動要支援者の支援体制について
吉田保雄	9	1 町民の健康寿命の向上と人間ドック検診について
杉村 宏	10	1 バス運賃の均一制を進めるべきだ 2 サポカーの普及を 3 公共交通のドライバー確保は、将来を見据えて 4 岩美駅東側に駐輪場の整備を
田中克美	11	1 認知症予防と補聴器購入補助について 2 国民健康保険税の子どもの均等割の軽減について 3 国による地域医療機関の統廃合、病床削減について 4 デジタル関連法と自治体のデジタル化について
升井祐子	12	1 コロナ禍における観光対策 2 コロナ禍の防災・避難所の在り方

議会だよりでは、内容を1議員1ページに要約しています。議会ホームページでは、動画をご覧いただけます。会議録は、9月ごろから議会事務局や議会ホームページでご覧いただけます。

水路の維持管理に町も責任を

橋本 恒議員

地域活動が円滑に行える取組を検討

西垣町長



橋本 恒議員

橋本 自治会が行っている住宅地などの水路清掃の認識と、隣接する事業所などにも、参加してほしいという声をどう思うか。

町長 管理の区分がしづらい水路や、人力で清掃ができないなど、管理が難しい水路があると認識している。事業所も含め関係者と自治会などが協力して、引き続き維持管理を行ってほしい。

橋本 町内水路の所有者、工事の許認可権限者、使

用料の徴収者は誰か。

町長 すべて町になる。

橋本 条例に水路の維持管理をする者は明記されているか。

村島総務課長 条例には規定されていない。

橋本 管理責任が明記されていない自治会に、維持管理させるには負担の大きい水路が有る。

水路を所有し、許認可権限や使用料徴収権を有する町が責任を持って維持管理すべき。

町長 管理のしやすい水路への改良や、汚泥の運搬、処分費の支援など、地域活動が円滑に行えるような取組を検討する。

児童生徒の良くない情報も共有すべき

橋本 恒議員

情報共有は必要だ

寺西教育長

橋本 いじめは、社会全体の大きな問題となっている。小中学校のいじめ認知件数はいくつか。

教育長 元年度は小学校25件、中学校6件だ。

橋本 心の被害もいじめとされるなか、どのような対応をしたか。

教育長 しっかりと事実関係の聞き取りを行い、事実によっては、いじめ防止対策委員会を開き、情報共有や事実確認を行い、いじめが確認されれば対応方針や再発防止を協議している。

まず第1に、いじめを受けた児童生徒の心のケアの支援を行う。いじめを行った児童生

徒には、人格の成長に期す意味で、毅然とした指導を行っている。

橋本 いじめの未然予防や早期発見の対策は。

教育長 いじめに気づく感覚が非常に大切だ。日常的に児童生徒を丁寧に観察している。

また、アンケートなどを行い、いじめの実態把握に努めている。

橋本 教職員の体罰は社会的に許されない。過去3年間に体罰は発生しているか。

教育長 体罰の報告はされていない。

橋本 体罰があったとの情報がある。教育委員会が把握していないことを含め、どう思うか。

教育長 関係者の話を聞き、事実確認をしたい。

橋本 不登校の現状と対応は。

教育長 2年度は、小学校は2名、中学校は8名が不登校。その子どもたちに寄り添う対応をしているが、多くの場合、その要因ははっきりしないというのが、現在の不登校問題の難しさだ。

橋本 子どもは地域で守るとよく言われるが、子どもたちの状況や問題が地域に見えてこない。青少年育成を担う組織には、たとえ良くない事案でも情報共有すべきと考えるがどうか。

教育長 情報共有は必要だと思っているが、その内容や範囲については、慎重な対応が必要だ。



住民による水路清掃（太田地内）

森林環境譲与税で里山整備を

宮本 純一議員

町の実情にあった取組を進めていく

西垣町長



宮本 純一議員

宮本 森林環境保全税と森林環境譲与税で何を行うのか。

町長 森林環境保全税は県独自の税金で、造林事業や竹林整備などに活用されている。

宮本 6年度から、森林環境税として町民1人から1000円徴収される。税の目的や徴収方法を

宮本 毎年多額の交付があるが、事業の取組体制はできているか。

町長 現段階では、県の助言や情報提供を受けながら取り組んでいく。

宮本 地籍調査未実施の森林での境界の明確化は可能か。

町長 公図や航空写真を基にした森林基本図、所

有者からの情報などを参考に作成した図面を基にお互い隣接する山林所有者が立会し納得してもらう以外に方法はない。

宮本 全国の取組事例を参考にして、柔軟に里山整備に取り組まないか。

町長 町の実情に合った部分を取り入れ、考えながら取り組みたい。

中学校部活動の地域移行はすべきでない

宮本 純一議員

県の議論を参考にしたい

寺西教育長

宮本 中学校部活動の新型コロナウイルス感染症対策はどうしているか。

宮本 岩美町地域総合型スポーツクラブの活動状況はどうか。受け皿となるか。

教育長 県教委が出したガイドラインに従い対応している。

教育長 小学生を対象にした柔道、トランポリン教室を実施しているが、現状は難しい。

宮本 文科省は、5年度以降、休日の部活動の地域移行を段階的に実施することのことだが、どう考えているか。

宮本 地域移行はすべきでない。県教委は検討されるのか。

教育長 多くの課題があると認識している。

宮本 文科省は地域移行をどう進めようとしているのか。

教育長 今後、部活動の在り方及び方向性検討会(仮称)で議論される。これを参考に教育の一貫としての部活動となるよう努力していく。



進む森林整備の様子(延興寺地区)

教育長 文科省は総合型スポーツクラブを運営主体と想定しているようだ。

ごみ分別の周知をどうするか

森田 洋子議員

ケーブルテレビを使い周知したい

西垣町長



森田 洋子議員

森田 日本は近年、天然資源の消費や環境への負担をできる限り小さくする、循環型社会に取り組んでいます。

町長 4Rのリデュース(断る)、リユース(減らす)、リユース(再利用)、リサイクル(再生利用)を情報発信し取り組みたい。

森田 第10次総合計画が最終年度だ。可燃ごみの年間処理量の目標が、3年度までに、1700トン掲げ取り

で、いずれも増加をしているが、コロナの影響なのかはわからない。

組んでいる。課題はなにか。

町長 2年度は、2106トンで達成できなかった。

一般家庭のごみのさらなる減量化と、事業者から出されるごみの削減が課題である。

森田 コロナ禍で家庭での調理が増え、全国的に生ごみ処理機の購入が増えている。

本町は以前から、コンポスト、生ごみ処理機の助成制度がある。利用状況はどうか、コロナの影響はあるか。

町長 コンポストは、元年度4基、2年度19基である。生ごみ処理機は、元年度6基、2年度16基

今後も協力を呼びかけたい。

森田 ミックスペーパー推進事業の取組に、元年度6月議会で町長は、しっかり行政回収の協力を呼びかけると答弁された。その後の取組はどうか。

町長 行政回収の協力の呼びかけを行ったが、目標5000トンの達成は、厳しい状況である。

森田 4年から、東部広域の新可燃物処理施設リニアいなが稼働する。それに伴い、正しい分別の仕方の周知は考えているか。

町長 ガイドブックを、今年度配布する。ケーブルテレビも活用して分かりやすく周知したい。



役場のエコキャップ回収ボックス

福祉避難所の体制はどうか

森田 洋子議員

町内11施設と協定している

西垣町長

森田 3年5月20日に、改正災害対策基本法が施行された。改正により、個別避難計画の作成が努力義務になった。全国の自治体で4割近くが未作成だ。

本町の作成状況はどうか、また課題認識はどうか。

町長 115の集落中54の集落が作成済みである。制度の必要性を十分に説明し切れず、十分に理解が得られなかった。町内全域で策定できるように進めたい。

森田 高齢化が進み、福祉避難所の重要性が高まっている。本町の福祉避難所の開設はどのようになっているか。

町長 町内11施設と福祉避難所の協定を結んでいる。

森田 就労支援B型事業所の岩美かたつむり工房で、避難体制を考えるとほしいと話された。避難所の場所確保や避難体制の整備はできてい

るか。

町長 個別対応は難しい。最寄りの指定避難所に避難してほしい。

コロナ対策を取った上で、自治組織と一緒に運営する。

森田 高齡化が進み、福祉避難所の重要性が高まっている。本町の福祉避難所の開設はどのようになっているか。

町長 町内11施設と福祉避難所の協定を結んでいる。

災害時は、町の指定避難所に避難し、その後開設される福祉避難所に移動となる。

70歳以上の人間ドックに補助を

吉田 保雄議員

今後検討していきたい

西垣町長



吉田 保雄議員

健康寿命・平均寿命の向上の取り組みは

吉田 健康寿命の向上が重要なことであるのは承知のとおりだ。

県は5年度までに健康寿命、平均寿命とも全国10位以内を目指している。町の取組はどうか。

町長 第三次健康づくり計画を策定し、取り組んでいる。

吉田 県の全国10位以内の目標に対し、町は目標達成できるか。

町長 健康寿命や平均寿命は県別、政令指定都市の単位しか公表しておらず、町単独の数値を持ち合わせていないので解りかねる。

各種検診の受診状況はどうか

吉田 生涯年齢の100歳を目指すといわれている。

誠に喜ばしいことに、太田地区には100歳になられる方が、晴れの日には毎日午後畑仕事をしていらっしゃる。

健康診断や特定検診などで健康管理し、町民の健康寿命と平均寿命を伸ばして欲しい。各種検診の状況はどうか。

居組健康長寿課長 元年度のがん検診の受診率は、

胃がん28%、肺がん34%、大腸がん35%、乳がん19%、子宮がん26%、5%、乳がん19%、3%だ。

受診率は年々向上している。

70歳以上の人間ドック検診に補助を

吉田 70歳以上の方にも人間ドック検診の補助が受けられるよう検討する考えは無いか。

町長 町では、35歳から70歳までを対象に人間ドックの費用助成を実施している。

年齢が高くなると日頃から定期的に医療機関を受診されている事を鑑みて行なっているが、町民の皆さんのニーズや、病院の体制を含めて、検討したい。

健康寿命向上にオンラインを活用

吉田 なたばたカフェや田後公民館と岩美病院をオンラインでつないで健康相談が行なわれている。健康寿命の向上と長寿化の取組に、各地区公民館の組織と協力して推進する考えは無いか。

ライン接続用のカメラが準備されている。

中央公民館と各地区公民館や岩美病院、さらにはケーブルテレビなどを同時接続して、健康管理や健康寿命向上の各種企画を積極的に推進する考えは無いか。

町長 現在、月に一回、岩美病院と網代のなたばたカフェ、田後公民館をインターネット回線で結び、健康相談を開催し、参加者から好評を頂いている。

今年度は中央公民館などの整備したオンライン機器を活用して、このような取組を全町的に広げていきたい。

町長 地区公民館との連携は、公民館事業の中で健康講座や各種スポーツ教室、がん検診の案内などいろいろと協力して行っている。

吉田 中央公民館を中心に、各地区公民館にオン



なたばたカフェのオンライン健康相談

バス運賃の均一制を

杉村 宏議員

早い時期の実施に向け協議する

西垣町長



杉村 宏議員

杉村 郊外型の集落が多い町域で現状に合った安全・安心の町内移動として、岩美モデルを構築したい。

長野県の飯綱町では、隣の長野市に至るバス路線で飯綱町内は二百円の定額としている。どうして均一料金制が長野でできて、鳥取はできていないのか。

町長 運賃差額を飯綱町が補填している。補填額は、事業者調査で算定している。

鳥取運輸支局は、国庫補助路線の補助額を算定するには、毎日の乗降場

運賃収入を集計し、正確な運賃差額を算定する必要があるとしている。

町で全数調査するのは難しく、事業者も毎日のデータを集計する作業を運転業務に加えて行うのは困難で、事業者の協力が得られない。

長野と同じやり方は困難だ。

杉村 民間路線バスの降力ウントは行ったか。

大西企画財政課長 2・3年度に交通計画案を作成し、職員が民間路線バスの全てに乗車して確認した。

杉村 その調査は、均一料金にした場合、どれぐらいの補助金額が算定ができる調査か。

町長 どれぐらい影響するのか算定できないこともない。しかし、本当に正しい数値なのかは示しづらい。あえて積算していない。

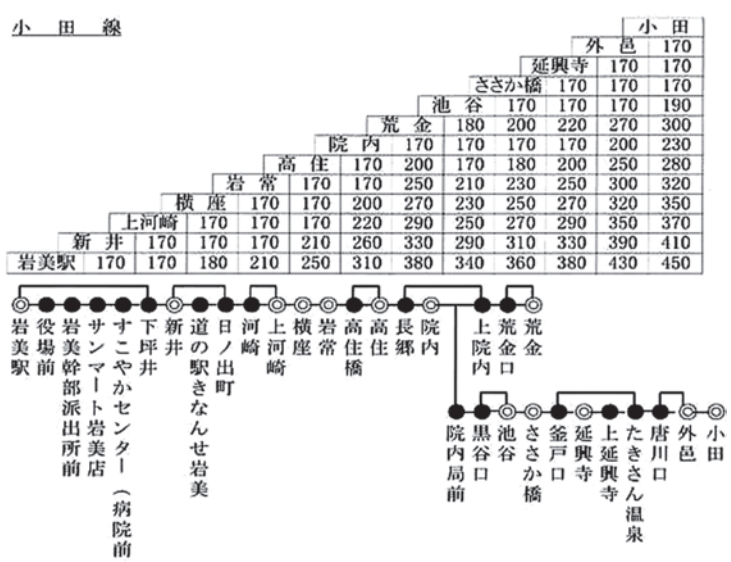
杉村 町長の言われるとおり、正しい数字は示せない。

現在、国県道は民間路線バスに維持補助金を出しているが、年に1回だけの調査をし、1年間分

の補助金を公費から出している。

確かにカウントするのは難しいが、本当の数字は出るわけがない。それをもっとなかなか計算は難しいという論議なら、いつまでたっても前に進まない。

町営バスを百円にした場合、バス会計への繰出金は年間実質70万円の負担増であった。変わっていないか。



町営バスの運賃表 (小田線)

町長 変わりはない。

杉村 料金均一制の百円バスを、町内論議を広範にし、町民全体の問題としていただくためにも、町営バスで先行試行を4年度に行うべきだ。

町長 地域に格差が生じ、競合区間の整合性もとれ

老々送迎に支援を

杉村 宏議員

負担軽減すべきだ

西垣町長

杉村 サポカー補助として、後つけの高齢者ペダル踏み間違い急発進抑制装置設置費の4万4千円を、国2万円、町1万円の助成を行い、個人負担は1万4千円とする制度を町は本年度から始めた。家族や知人の送迎を買い物や通院で受ける方が相当数ある。老々送迎は、全額補助を行うべきだ。

町長 高齢者ドライバーが免許をお持ちでない高齢者の方を、共助で送迎する事例は承知している。負担は、何らかの形で軽減すべきだ。実現に向けて進めたい。

その他の質問

公共交通のドライバー確保は、将来を見据えて岩美駅東側に駐輪場の整備を

難聴者、補聴器の実態調査を

田中 克美議員

介護予防アンケートで調査したい

西垣町長



田中 克美議員

田中 認知症対策として難聴者支援が行なわれる

ようになつてきた。難聴者を支援するため、難聴者や補聴器の実態調査を提起したい。難聴から必ず認知症になるわけではないが、発症リスクとなる。難聴の治療方法はない。できるのは補聴器による聞こえの改善だ。



ほのぼのの教室で認知症予防を学ぶ

町長 次回の介護予防のアンケート調査から実態把握をしたい。

田中 町の計画に認知症の予防対策がない。予防を位置付けるべきだ。

町長 予防、早期対応、重症化対策を一体的に行うため、次期計画において

て明記して取り組みたい。

田中 補聴器の普及は大変遅れている。日本では必要な人の14%だ。補聴器はトレーニングが必要だ。まず補聴器の購入費助成をやってほしい。

町長 実態を把握したうえで検討したい。

デジタル化で町の独自性を失う

田中 克美議員

町独自のサービスは継続したい

西垣町長

田中 デジタル関連法の成立により、地方公共団体の情報システムが標準化され、町独自の上乗せ措置が抑制され、独自措置が維持できなくなる。どう認識しているか。

町長 標準化により町が行っていた業務が対応できなくなる場合に、独自にシステムを追加構築する必要があり、経費負担が生じることは懸念している。

町独自の行政サービスは継続していきたい。

田中 独自サービスに必要な仕様変更するには、法が定めた3要件を満たすことが必要で、しかも要件の詳細は今後政府が示すとされている。デジタル化による窓口業務の無人化や廃止が言われているが、窓口業務は、対人でなければ対応できないことが随分あり行政の機能が失われかね

ない。町長の認識はどうか。

町長 住民の皆さんへの対応については、変えるべきではないと思う。

田中 デジタル関連法は、個人情報保護より利活用

住民の個人情報、プライバシー権が侵害されるおそれが大きくなると思う。どう認識しているか。

町長 個人情報がかさねることになってはならない。

児童子ども均等割廃止を県に求めよ

田中 克美議員

町村会として働きかけている

西垣町長

田中 国は来年4月から、国保税の均等割の未就学児分の5割を軽減し、財源は国2分の1、県と市町村が各4分の1と決めた。

来年の実施時に町の負担額はいくらか。

松本 住民生活課長

約13万6000円となる。

田中 制度対象外の小・中学校児童生徒、18歳未満の均等割額はいくらか。

私は県独自でもとってきた。子どもの均等割をなくすべきだと考えている。

住民生活課長 小・中学校児童生徒で約237万3000円、小・中学生を含む18歳未満で約277万9000円となる。

田中 18歳未満までの均等割をなくす制度創設を、県に提起してほしい。

町長 町村会として県に軽減措置を働きかけている。

私は県独自でもとってきた。子どもの均等割をなくすべきだと考えている。

コロナ禍の観光事業に支援を

升井 祐子議員

引き続き支援を検討する

西垣町長



升井 祐子議員

升井 世界的な新型コロナウイルスアウトブレイク感染症拡大の中で、観光事業は、今後の見通しは立っていない。町長の見解はどうか。

町長 農業、水産業などさまざまな分野で危機的な状況が続いている。特に町内の観光事業者は大変大きな影響を受けている。

升井 経済的な支援継続についてはどうか。

町長 必要な施策については、引き続き検討したい。

升井 隠れた観光地の発掘や魅力発信は考えているか。

町長 自治会や有識者などに聞き取りし、新たな観光資源の開発に取り組んでいる。

コロナ禍での災害に人材確保は

升井 祐子議員

県や専門団体との共助を検討

西垣町長

升井 コロナ禍での災害対策のマニュアルはあるか。

町長 国・県のマニュアルに準ずる。

升井 指定避難所以外の開設や、車中避難などの駐車スペースの確保は。

町長 コミュニティセンターなども含めて活用。車中ではなく避難所への避難を、お願いしたい。

升井 被災に対応する専門知識を有する人材や人員の確保はどうか。

町長 町で、対応できないことは、県や専門的な団体に支援を考えている。

升井 感染症対応の資材の備蓄の確保はどうか。

村島総務課長 町内5か所の指定避難所に設置した防災倉庫に備蓄している。

升井 避難の際の持ち出し品は。

町長 ハザードマップに示しているものに加え、マスクと体温計などを広報、ホームページで周知する。

升井 介護、福祉機関の入居者、障がいがある方の避難方法を議論してはどうか。

町長 入居施設のマニュアルに沿って避難していただくことになっている。障がいがある方は、町が警戒レベル3の高齢者等避難を発令する場合、最寄りの指定避難所に速やかに避難をお願いしたい。



コロナ禍でも前向きな町内の観光事業者 (写真提供 山陰松島遊覧)

9月定例会から 本会議の審議を生放送

昨年3月定例会から一般質問を岩美町チャンネルで生放送していますが、次の9月定例会から、本会議での議案、請願・陳情の審議も生放送します。

議会活動の在り方検討特別委員会の活動も2年を経過しました。「議会の公開」と議員の力量向上の取組について紹介します。



議会活動の在り方について、真剣に議論

一般質問と審議の放送

一般質問

- ◇生放送（岩美町チャンネル）
- ◇録画放送（岩美町チャンネル）
質問後の土・日・月の各2回
- ◇録画放送（YouTube）
質問者毎に視聴ができます。

議案審議（請願・陳情を含む）

- ◇生放送 ※9月定例会から

議会の傍聴

本会議の傍聴

- ◇本会議場内で傍聴できます。
（議会事務局に申し出が必要です）。
- ◇役場の町民ホールと3階でモニター
視聴できます。

常任委員会、議会運営委員会、特別委員会、全員協議会も傍聴できません（議会事務局に申し出が必要です）。

説明資料の公開

- ◇議案及び町が議会に提出した議案説明資料を開会初日に議会ホームページにアップします。※9月定例会から

会議録の公開

本会議の会議録

- ◇議会ホームページから見るができます。（従前から）
次の会議録をホームページにアップしました。
- ◇議員報酬等調査特別委員会
（平成30年12月～令和元年6月）
- ◇議会活動の在り方検討特別委員会
（令和元年7月～現在）

議員力向上の取り組み

- ◇質疑・質問力向上のため講師を招いた研修会 2回
- ◇新人議員の研修会 8回
- ◇研修会参加のための予算増額

岩美高生が 6月定例会を傍聴

6月8日の一般質問を1年生が傍聴しました。
いただいた感想の一部を紹介します。



伊澤 希実 (いざわ のぞみ) さん

私は、初めて議会を傍聴しました。学校でやる話し合いとは違って、質問一つ一つに対して丁寧に答えられていてすごいと思いました。他県のいろいろな取り組みや全国の方針を参考にしながら、岩美町にあった取り組みも考えられていてすごいと思いました。(略)今日の議会で思ったことは、もう少し議員さんが幅広い年齢で女性も男性もいるともっといろいろな目線からの意見も聞けていいということです。岩美町がもっと住みやすいまちになるように、これからも頑張ってください。

小林 蒼志 (こばやし あおし) さん

女性議員が少なく、男性議員が多かったので、もっと女性の議員を増やしてもいいと思った。議員がいろんな質問をされていて大変そうだったし、一つのことにとたくさん話していてすごいと思った。とても熱意のある議会で特別な時間を過ごせたと思うし、貴重な経験になったと思う。

清水 夏実 (しみず なつみ) さん

私は、今日初めて岩美町議会を傍聴しました。(略)自分が思っていたよりも地域をよくするためにどうするかなどを話していて、岩美町の人たちのことを真剣に考えているのが伝わってきました。特に、自分の意見や思いをしっかりと町長、教育長に伝え、たくさん質問していました。少し気になったことは、男性議員のほうが多く、女性議員の方が数人しかいなかったことです。男性の方の意見ばかりでなく、女性の方の意見も大切なのではないかと思いました。

吉橋 圭祐 (よしはし けいすけ) さん

議会の話は難しくあまり頭に入らなかったけれども、議員の方がこれからの日本の将来について話し合いをしているのが分かった。土砂崩れなどの災害が起こらないように危険な場所の森林を伐採し、人の命を守り、安全のことを考えていることが議会を聞いて知ることができたこと、税金を何に使っているのが分かった。また、中学校の部活動についての話も聞いた。

河口 裕貴 (かわぐち ゆうき) さん

途中からの参加だったので、話が難しくわかりませんでした。すごく大切な話をされているというのは分かりました。

大谷 喜平 (おおたに きっぺい) さん

議会で傍聴したのは、森林環境譲与税についての内容でした。(略)議会傍聴して感じたことは、岩美町民の生活をよりよくするために支えてくださる人がたくさんいるということです。これからも自分が気付かないところでいろいろな人々が支えていることを忘れずに生活したいです。少し気になったことは、男性の議員や年齢が高い人が多かったことです。もっと女性の議員が多ければ、女性の意見が聞けるし、若い議員がいれば、若者の意見も反映されるのではないかと思います。

梅津 瑚陽奈 (うめつ こひな) さん

岩美町議会を見て感じたことは、雰囲気などとても緊張感のある中で、岩美町のことについて真剣に話し合っていたということでした。岩美町をよりよくしていくために、話し合いの中でたくさんの県の事例を参考にしていたのが印象的でした。

太良木 萼花 (たらき まいか) さん

岩美町議会の傍聴を初めて聞いた。内容がところどころ難しいと思ったが、すごく熱心に議論されていて岩美町をよくするために頑張っておられるのだと強く思いました。(略)中学校の部活動については、新型コロナウイルスの感染対策をきちんと行っているか、中学校の部活は教育の一環であるなど生徒のことをきちんと考えておられるのだと思いました。

廣田 梨子 (ひろた りこ) さん

今日、岩美町議会を見に行っているいろいろな話をしているのだなと思いました。静岡県や岩手県など他県のいいところを調べ、岩美町に還元しようとしてすごいと思いました。中学の部活動は教育の一環なのかという質問もありました。それについて、自発性や責任感、連帯感などが身につくということや学ぶきっかけになるので、部活動は教育の一環だと答弁されていました。初めて知ることができたので良かったです。議員が手を抜くことなく岩美町民のために話し合う姿は、かっこいいなと思いました。

議会だより調査特別委員会委員

委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員長	議長
升井	森田	吉田	寺垣	川口	柳本	橋本	足立
祐子	洋子	保雄	智章	耕司	正敏	克恒	義明

編集後記

議会活動の在り方検討特別委員会の活動開始から2年。今号は、議会の公開を主にしたこの間の到達を13頁に紹介▼議会の公開は、議会活動を監視してもらうのが目的です▼「改革」は同時に、議会の役割を果たすことができる議員力の向上に実つてこそ、意味があります▼活字の公開だけでなく、音声も視聴してもらい、耳に痛い声を励みに、さらに前に進みたい▼9月議会を控えた今夏、質問・質疑の向上めざす自主研修に取り組みます。

田中克美